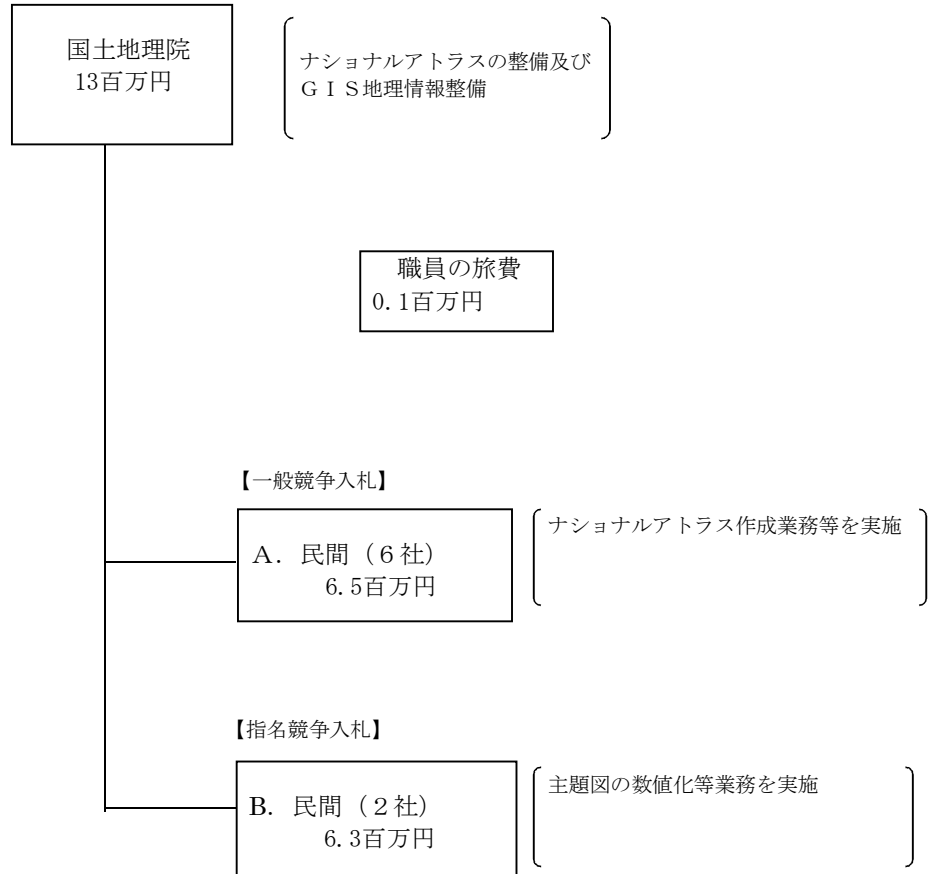


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	アトラス等作成経費	事業開始年度	昭和46年	作成責任者										
担当部局庁	国土地理院	担当課室	測図部管理課	課長 明野 和彦										
会計区分	一般会計	上位政策	国土の位置・形状を定めるための調査及び地理空間情報の整備・活用を推進する											
根拠法令 (具体的な条項も記載)	測量法	関係する計画、通知等	基本測量に関する長期計画											
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の自然、経済、社会、文化等の諸事項を地図にまとめたナショナルアトラスを整備することにより、諸外国への国勢紹介や国土計画や地域計画等の策定に資するとともに、地形・地盤条件、土地被覆等の地理空間情報を数値化することにより、自然災害のシミュレーションの高度化や二次災害防止等に資する。													
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本国政府の「日本国勢地図帳(ナショナルアトラス)」を刊行後、その情報の更新を実施している。各国政府では、ウェブ版のナショナルアトラスを整備しており、我が国でも電子化したナショナルアトラスの公開に向けて情報を整備する。また、国土地理院で保有する土地条件図等の地理情報を、GIS基盤情報や基盤地図情報とリンクして使用可能な数値情報として整備する。													
実施状況	<p>○ナショナルアトラスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19年度は、インターネット公開に向け調査・検討を行い、システム(プロトタイプ)の基本設計を行った。 ・20年度は、インターネット公開用Web版ナショナルアトラスのシステム構築を行った。 ・21年度は、公開データにおいて表示用データ変換及び表示プログラムの高速化・操作性等の機能拡充を実施した。 *22年度においてWeb版ナショナルアトラスの試験公開を予定している。 <p>○GIS地理情報整備</p> <table border="1"> <tr> <td>19年度</td> <td>20年度</td> <td>21年度</td> </tr> <tr> <td>1地区</td> <td>1地区</td> <td>2地区</td> </tr> </table>				19年度	20年度	21年度	1地区	1地区	2地区				
19年度	20年度	21年度												
1地区	1地区	2地区												
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求								
	予算額(補正後)	13	13	13	10	0								
	執行額	13	13	13										
	執行率	99.9%	99.6%	96.7%										
	総事業費(執行ベース)													
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・発注先の選定に当たっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、一般競争入札による手続きを経たうえで、発注先を特定し、請負契約を締結している。 ・業務の実施にあたっては、作業体制及び作業計画表の事前確認を行うとともに、工程管理を通じて実施内容、支出先や用途について明確に把握できるよう適宜確認を行っている。 ・業務終了後、完了時の検査を行い、成果物(報告書等)について確認を行っている。 												
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・発注にあたって、調達情報について前広に事前公示を行い周知期間を十分に置く、配置予定者の実績要件を緩和するなど、透明性の確保、競争性の向上に努めている。今後とも、効率的、効果的な予算の執行に向け、調達にあたっての更なる競争性の向上等改善を図っていくこととしている。 (20年以上経過した事務事業の廃止を前提とする検証) ・日本国勢地図帳(ナショナルアトラス)作成事業については、平成23年度効果検証を行うため休止とする。 												
予算・監視の効率化	<p>【抜本的改善】</p> <p>国民のニーズや利用頻度等を調査するなど、事業効果の検証を進めるべき。また、発注に当たってはコストを精査のうえ縮減を図るとともに、競争性・透明性の高い発注先の選定方式の導入を図る。</p>													
補記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・040 地理空間情報整備・活用等推進費 ・95 地理空間情報の整備・活用等の推進に必要な経費 ・031 アトラス等作成経費 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(21年度予算額)</td> <td>(21年度決算見込額)</td> </tr> <tr> <td>・95016-2122-08 測量旅費</td> <td>0.1百万円</td> <td>0.1百万円</td> </tr> <tr> <td>・95016-2123-09 測量庁費</td> <td>13.2百万円</td> <td>12.8百万円</td> </tr> </table>						(21年度予算額)	(21年度決算見込額)	・95016-2122-08 測量旅費	0.1百万円	0.1百万円	・95016-2123-09 測量庁費	13.2百万円	12.8百万円
	(21年度予算額)	(21年度決算見込額)												
・95016-2122-08 測量旅費	0.1百万円	0.1百万円												
・95016-2123-09 測量庁費	13.2百万円	12.8百万円												

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)



A.(株)昭文社デジタルソリューション					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	Web版ナショナルアトラスデータ 変換プログラム作成業務	5			
計		5	計		0
B.北海道地図(株)東京支店					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
測量業務	沿岸海域主題地理情報数値化業 務	3			
計		3	計		0
C.北海道地図(株)札幌支店					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.北海道地図(株)仙台支店					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

【別紙】

A. 民間(6社)		6. 5百万円
No.	支出先	金額(百万円)
1	(株)昭文社デジタルソリューション	5.3
2	(株)エス・エイ・ケー	0.6
3	(株)トータル・サポート・システムつくば営業所	0.4
4	(株)ホサカ	0.1
5	(株)つくばマルチメディア	0.1
6	(株)かどや商店	0.0
7		
8		
9		
10		

B. 民間(2社)		6. 3百万円
No.	支出先	金額(百万円)
1	北海道地図(株)東京支店	3.3
2	内外地図(株)	3.0
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		